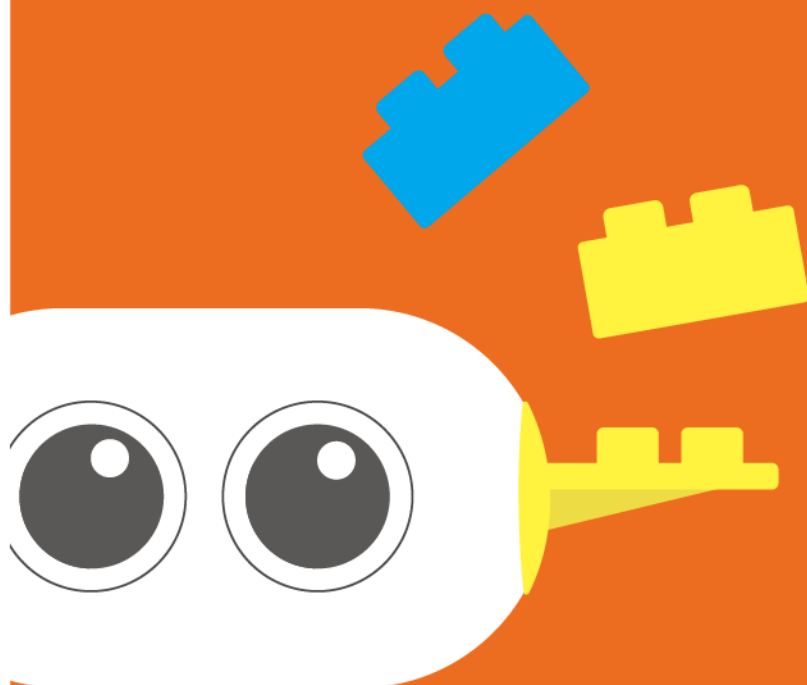


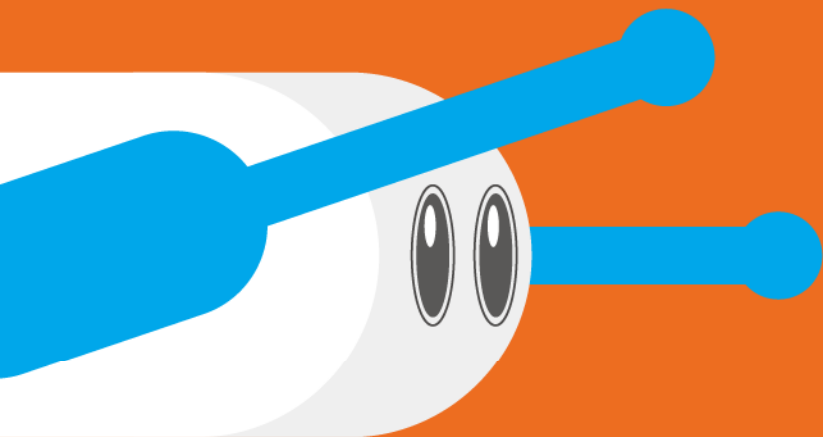
KUMON

Tale-Bot_{Pro}

ユーザーガイド



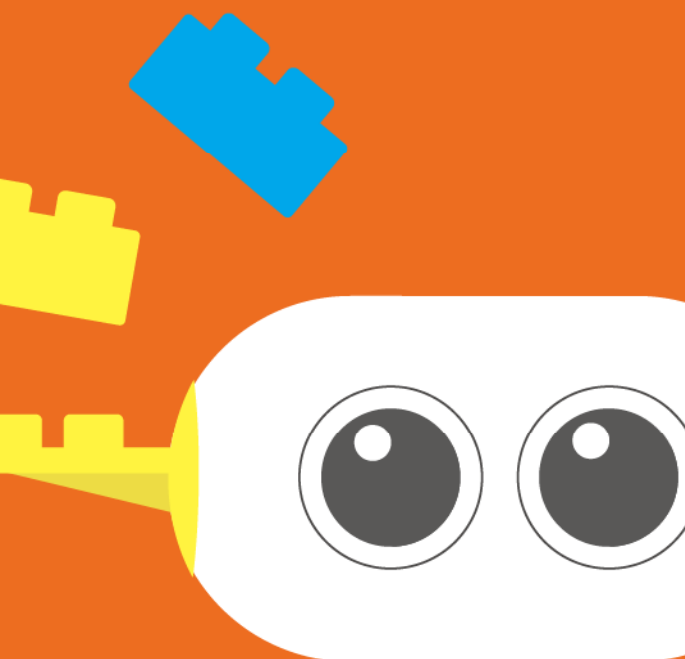
matatalab **EDU**



matatalab **EDU**



目次



01	セット内容	01
02	各部の名称	01
03	テイルボットのパーツの組み替えかた	03
04	電源のオン・オフのしかた	04
05	各ボタンの機能について	04
06	「デバッグ」を試みよう	08
07	チュートリアル：	
	テイルボットをプログラミングしてみよう	09
08	Activity Boxを使って遊ぶ	11
09	充電のしかた	13
10	各インジケータLEDの状態について	13
11	必ずお読みください	14
12	保証書・サービスについて	15

01 セット内容



テイルボット×1個



アームパーツ×2個



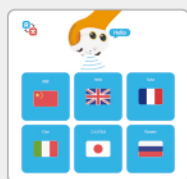
ドロ잉&ブロックパーツ×2個



ウイングパーツ×2個

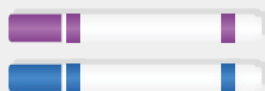


ユーザーガイド(本書)×1冊

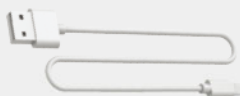


言語切り替えシート×1枚

※使い方につきましては[Activity Boxユーザーガイド]
P.12「07 言語設定のしかた」をご参照ください。



ペン×2本
※ペンの色はランダムです。



充電ケーブル
(USB Type-Cケーブル)×1本

02 各部の名称

- 前進ボタン
- 後進ボタン
- 右回転ボタン
- 左回転ボタン
- プレイボタン
- ランダムダンスボタン
- リピートボタン
- 録音ボタン
- クリアボタン



- パワーインジケータ
- 電源ボタン
- 充電ポート



- ① 左ホイール
- ② 全方向ホイール
- ③ スピーカー
- ④ OIDセンサー
- ⑤ 右ホイール

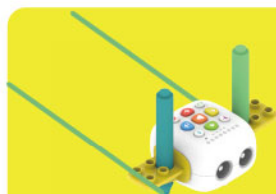
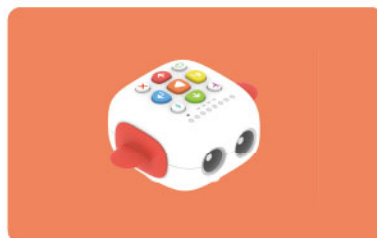
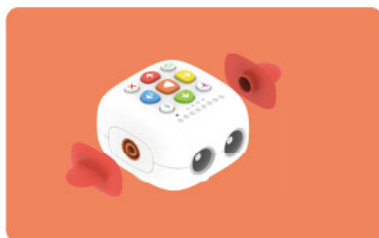
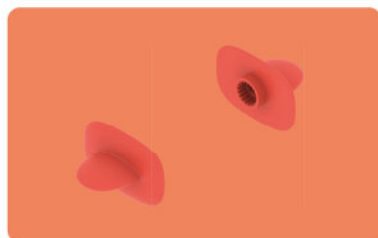
- ① マイク穴
(録音するときは、音源をこの穴にできるだけ近づけてください。)
- ② リピートインジケータLED×4
- ③ コーディングインジケータLED×8
- ④ 右目LED
- ⑤ 左目LED



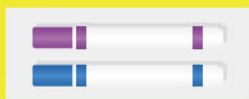
03 テイルボットのパーツの組み替えかた



テイルボットの両側についているオレンジ色のパーツを取り外して、他のパーツと組み替えて遊ぶことができます。



付属のペンを黄色いパーツの穴にセットした状態で、テイルボットを動かすと線を描くことができます。



※穴のサイズに合うペンであれば、付属のペン以外にもお使いいただけます。

04 電源のオン・オフのしかた



電源のオンのしかた

起動音が鳴るまで、電源ボタンを押し続けます。

➡電源がオンになると、パワーインジケータが青色に、左右の目のLEDがオレンジ色に光ります。

電源のオフのしかた

終了音が鳴るまで、電源ボタンを押し続けます。

➡電源がオフになると、パワーインジケータと左右の目のLEDの両方が消えます。

※バッテリー残量が5%未満の場合、または1時間経過しても使用されない場合、自動的に電源がオフになります。

05 各ボタンの機能について



プレイボタン

プレイボタンが押されると、テイルボットは入力されたプログラムを実行します。

※プログラムが終了したあとに、もう一度プレイボタンを押すと、テイルボットは同じプログラムを再度、実行します。
プログラムの実行中にプレイボタンを押すと、テイルボットはプログラムの実行を停止します。プレイボタンをもう一度押すと、テイルボットは入力されたプログラムを最初から再度、実行します。



ランダムダンスボタン

ダンスコマンドを入力します。ダンスの動きはランダムで、全部で6種類あります。
ランダムダンスコマンドを入力した後、プレイボタンを押すと、テイルボットがダンスをします。

やってみよう!

テイルボットはどんな動きをするかな?



05 各ボタンの機能について



前進ボタン

前進ボタンを1回押すと、1回前に進むコマンドが入力されます。テイルボットは1回で約10cm前進します。

前進コマンドを入力した後、プレイボタンを押すと、テイルボットは前に進みます。

やってみよう!

テイルボットはどんな動きをするかな?



後進ボタン

後進ボタンを1回押すと、1回後ろにさがるコマンドが入力されます。テイルボットは1回で約10cm後進します。

後進コマンドを入力した後、プレイボタンを押すと、テイルボットは後ろにさがります。

やってみよう!

テイルボットはどんな動きをするかな?



左回転ボタン

左回転ボタンを1回押すと、左に90°回転するコマンドが入力されます。

左回転コマンドを入力した後、プレイボタンを押すと、テイルボットは左に90°回転します。

やってみよう!

テイルボットはどんな動きをするかな?



05 各ボタンの機能について



右回転ボタン

右回転ボタンを1回押すと、右に90°回転するコマンドが入力されます。

右回転コマンドを入力した後、プレイボタンを押すと、テイルボットは右に90°回転します。

やってみよう!

テイルボットはどんな動きをするかな?



録音ボタン

・録音ボタンを押している間、音声を録音し、ボタンを離すと録音した音声を再生するコマンドが入力されます。1回の録音時間は最大30秒です。

・音声を録音した状態で、録音ボタンを短押しすると、直前に録音した音声を再生するコマンドが入力されます。

・音声を録音していない状態で、録音ボタンを短押しすると、「Hello! I'm Tale-Bot!」の音声を再生するコマンドが入力されます。

・テイルボットの電源を切るたびに、録音した音声ファイルは自動的に消去され、音声を録音していない状態に戻ります。

録音してみよう!



録音ボタンを押しながら、テイルボットに話しかけよう



クリアボタン

・クリアボタンを長押し(1秒以上)すると、入力したすべてのコマンドが削除されます。

⇒コーディングインジケータのLEDがすべて消えます。

・クリアボタンを短押し(1秒未満)すると、直前に入力したコマンドが削除されます。

⇒コーディングインジケータのLEDが1つ消えます。

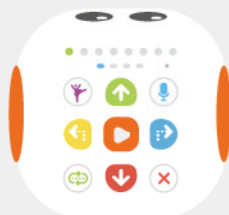
05 各ボタンの機能について



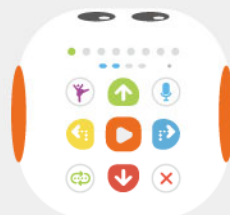
リピートボタン 入力したコマンドを何回繰り返して実行するかを設定できます。

次の4つの状況で、実行ボタンを押したときのテイルボットの動きをそれぞれ見てみましょう。

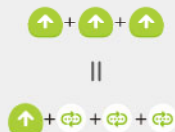
前進コマンドを1回実行する



前進コマンドを2回実行する



前進コマンドを3回実行する



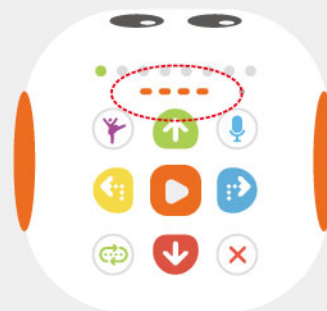
前進コマンドを4回実行する



コマンドを無限に繰り返す方法

リピートボタンを5回連続して押すと、リピートインジケータが青からオレンジに変わります。

この状態でプレイボタンを押すと、テイルボットは前進コマンドを無限に繰り返します。もう一度リピートボタンを押すと、リピートコマンドはゼロに戻ります。



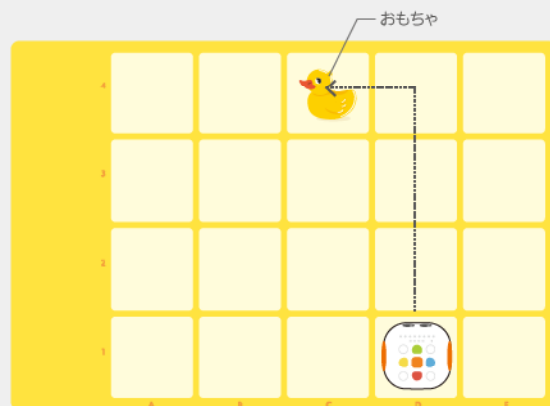
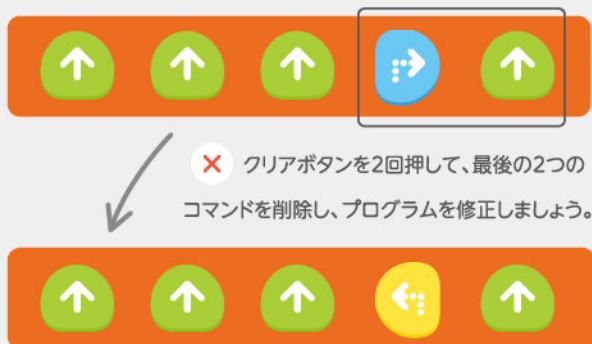
やってみよう

コマンドを無限に繰り返して実行するプログラムをつくってみましょう。

06 「デバッグ」を試みよう

コマンドの削除は、プログラミングにおける「デバッグ」(プログラムの不具合を発見し、取り除く作業)に相当します。
プログラムを修正するためには、間違いを見つけて取り除く必要があります。

おもちゃのあるマスに行きたいのですが、つぎのプログラムでは、テイルボットはおもちゃのあるマスまで行けません。
おもちゃのあるマスまで行けるようにプログラムを修正してみましょう。



※Activity Boxに入っているblankマップとおうちにあるおもちゃを使って、同じようにやってみましょう。

やってみよう

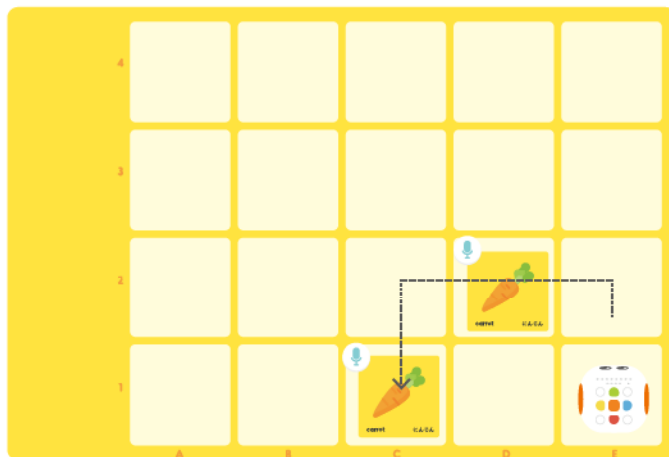
クリアボタンを長押ししてプログラムを修正してみましょう。

07 チュートリアル: テイルボットをプログラミングしてみよう

やってみよう

右のマップの矢印にそって、テイルボットがにんじんのステッカーを貼ったマスを通るようにプログラムしてみましょう。

にんじんのマスでいったん止まり、「にんじんを収穫したぞ!」と音声を流すようにしてください。



①マップに示されている矢印にそって、コマンドを入力しよう。



リピートボタンを2回押す



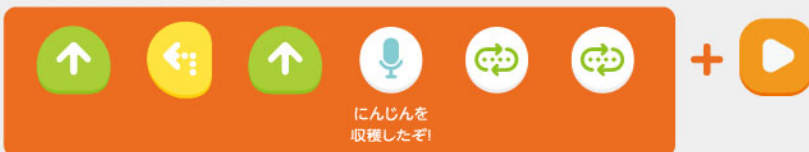
録音ボタンを押しながら、マイクに向かって「にんじんを収穫したぞ!」と話しかけて録音しましょう。その後、録音ボタンを離します。

07 チュートリアル: テイルボットをプログラミングしてみよう

② プレイボタンを押して、テイルボットを動かしてみよう。



コマンドの組み合わせ(例)



コマンドの説明



08 Activity Boxを使って遊ぶ ※詳しくは、Activity Boxのユーザーガイドをご覧ください。

Activity Boxのマップやステッカーを使って遊ぶ

テイルボットは、底面のセンサーでマップやステッカーを認識し、マップやステッカーに対応した音声を流したり、動きをしたりします。テイルボットが音声でガイドをしてくれるので、3歳からでもテイルボットを操作して、遊びながら学ぶことができます。

マップを使った基本的な遊びかた

※付属の言語切り替えシートで、テイルボットの言語を変えることができます。
詳しくは、Activity Boxのユーザーガイドをご覧ください。

※「かえるのせいちょうのしかた」のマップを例に説明します。他のマップについてはActivity Boxのユーザーガイドをご覧ください。

①テイルボットの電源をオンにする。



②マップの左上にあるメインエントランスにテイルボットを置く。
⇒「かえるの成長のしかた」という音声流れ、インタラクティブマップモードに入ります。



遊び【1】インストラクション
テイルボットがおしゃべりしながら動く

遊び【2】コード
自分でプログラミングする

③メインエントランスの下にある「Instructions」にテイルボットを置く。

⇒テイルボットから、「カエルがたまごからカエルになるまでの成長のしかたを見よう。まずスタートに連れていってね!」という音声流れます。

④左下の「スタート」のマスにテイルボットを置く。

⇒テイルボットがカエルの成長のしかたの順にしたがって、説明をしながらマップを自動的に動きます。カエルの成長のしかたについて学ぶことができます。

③メインエントランスの下にある「Code」にテイルボットを置く。

⇒「カエルの成長のしかたに合わせてプログラミングしよう。まずスタートに連れていってね!」という音声流れます。

④左下の「スタート」のマスにテイルボットを置く。

⇒「うーん、次はどこへ行こう?」とテイルボットが問いかけるので、カエルの成長のしかたに合わせて、マップを移動するプログラムをつくりましょう。この場合、まずはスタートからたまごのマスに行くプログラムを作ります。

※次のプログラムを作るときに、前のプログラムを消すのを忘れないように注意してください。

インタラクティブマップモードを終了のしかた

インタラクティブマップモードを終了するには、テイルボットの電源をオフにしてください。



ステッカーを使った基本的な遊びかた

①テイルボットの電源をオンにする。



※マップモードで遊んだあとにステッカーで遊ぶときは、一度電源をオフにしてマップモードを終了してから、電源をオンにします。

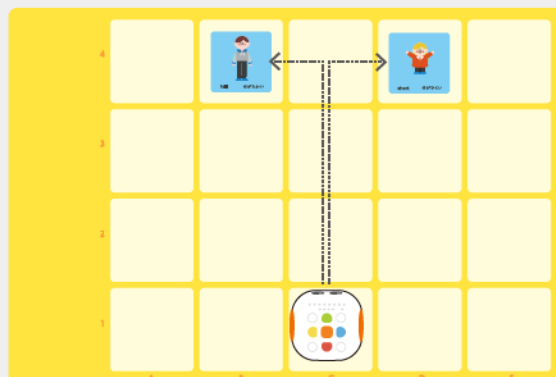
②テイルボットがステッカーの上にくると、ステッカーに対応した音声流れます。



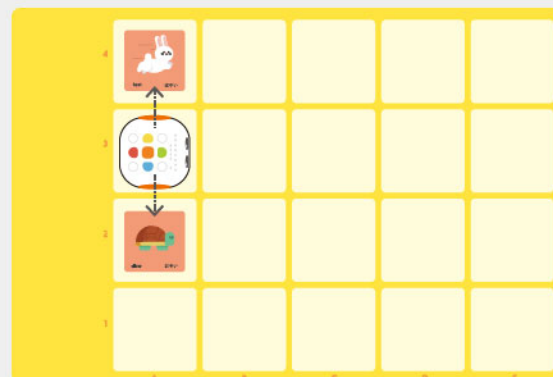
バナナ

やってみよう

1.「せがたかい」のはどっちかな？



2.「はいい」のはどっちかな？



09 充電のしかた

テイルボットのLEDが赤く点滅している場合、バッテリー不足です。市販の出力電圧5V/最大出力電流2AのUSB充電アダプターを使用して、充電してください。充電中はパワーインジケーターが赤く光ります。充電が完了するとパワーインジケーターが緑色に光ります。

※安全のため、テイルボットは3分間充電すると自動的に電源が切れ、充電モードになるように設定されています。

充電中はテイルボットを使用しないでください。

※テイルボットの充電時間は、約2.5時間で、動作時間は約4時間です。

- ⚠ 充電は保護者の方が行ってください。
- ⚠ 暑い部屋で充電を行わないでください。

市販のUSB
充電アダプター



充電ケーブル
(USB Type-Cケーブル)



充電ポート

10 各インジケーターLEDの状態について

状態	パワーインジケーター 	コーディングインジケーター 	目のLED
電源をオンにするとき	青色	LEDが中央から両側に向かって順番にオレンジ色に光ります。これが3回繰り返されたあと、電源がオンになりすべてのコーディングインジケーターのLEDが消えます。	オレンジ色
電源をオフにするとき	光らない	LEDが両側から中央に向かって順番にオレンジ色に光ります。これが3回繰り返されたあと、電源がオフになり、すべてのコーディングインジケーターのLEDが消えます。	光らない
バッテリー不足	赤色	赤色で2回点滅する。	赤色で ゆっくりと点滅する
充電中	赤色	光らない	光らない
充電完了	緑色	光らない	光らない
OIDモード	青色	-	青色に点滅する
Bluetoothに 接続したとき	青色	-	オレンジ色
Bluetoothの 接続が切れたとき	青色	-	オレンジ色
ファームウェアの更新中	青色	ファームウェアの更新に合わせて、LEDがオレンジ色にひとつずつ点灯していきます。ファームウェアが100%更新されると、8個のLEDがすべて点灯します。	オレンジ色で ゆっくりと点滅する
ファームウェアの 更新完了	青色	オレンジ色で2回点滅します。(約0.3秒間隔) (その後、テイルボットは自動的に電源がオフになり再起動します。)	オレンジ色

11 必ずお読みください



くちにいけない



おとなといっしょ



みずにあふさない



ひにちかづけない



まきつけない

警告 (けいこく)

保護者のかたへ必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲、窒息などの危険がありますので3歳未満のお子さまには絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●保護者のもとで遊ばせてください。●屋内で使用してください。●落としたり振り回したり、乱暴に扱わないでください。ケガをする危険があります。●誤った使用方法や不正な分解、改造を行うと故障の原因となります。
《内蔵された充電式電池を誤使用すると発熱・破裂・発火・液漏れの危険があります。下記に注意してください。》
●ショートさせると大電流が流れ、危険です。絶対にさけてください。●水に濡れたらすぐに使用をやめてください。ショートの原因になります。
●水や火の中に入れたり、分解、ハンダ付けは絶対にしないでください。●火の近く、高温・多湿の場所での使用、充電、保管はしないでください。
●廃棄するときは、自治体の廃棄処理の指示に従ってください。●充電は必ず目の届く、まわりに燃えやすいものがないところで行ってください。
●充電しながら遊ばないでください。思わぬ事故の原因になります。●リチウムイオン電池の特性として、寿命を過ぎて使い続けた場合に電池内部の化学反応によりバッテリーパックが膨らむなど変形することがあります。また、高温などの環境下や外部からの衝撃によって変形する場合もあります。変形した本体は使わないでください。●充電ケーブルを首にかけてぶざけたり、乱暴に扱ったりしないでください。窒息などの危険があります。●本商品は無線機器を使用しておりますので、ペースメーカー等医療機器をご使用の方はご注意ください。
《付属のペンに関して》●有害な物質は使用しておりませんが、ペンを口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
●使用後は必ずキャップをしめてください。●ペンのインクは肌についても水で洗い流せます。また、服についてしまった場合は、すぐにお湯で洗濯してください。つけ置き洗いや塩素系漂白剤の使用はしないでください。洗濯してもインクが落ちない場合がございますので、十分注意してご使用ください。●紙以外に使用しないでください。●紙質によっては裏うつりする場合があります。

＜使用上の注意＞●充電は大人の方が行ってください。●製品の動作温度・保管温度を超える場所での使用や充電は行わないでください。●長時間使用しない場合は、完全に充電してから保管してください。使用しない場合でも三か月に一回を目安に製品を充電してください。●製品を充電する際は、推奨する仕様(5V/2A)の充電アダプターをご使用ください。●推奨する仕様を超える充電アダプターには接続しないでください。●清掃時には、電源がオフになっており、充電器と接続されていないことを確認したあと、固く絞ったきれいな布で優しく製品を清掃してください。●電源コード、プラグ、外装およびその他の部品に破損がないか定期的に点検してください。破損した製品は使用しないでください。●充電ケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。故障、破損の原因になります。●使用後は必ず本体の電源をオフにしてください。●可動部分・取付部分を無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。●高い位置から落下させると故障の原因となります。

技術仕様

製品寸法	80*80*58mm
入力電圧・電流	5V2A
電池容量	1500mAh
センサー	OIDセンサー

動作温度	0°C～40°C
保管温度	-10°C～55°C
充電時間	約2.5時間充電で約4時間稼働

12 保証書・サービスについて

○商品名：Matatalab Tale-Botプロセット			
○保証期間：お買い上げ日より1年間			
○購入年月日：	年	月	日
○販売店：			
住所		店名	
お買い上げの日付けの入った販売店のレシートまたは領収書を 貼付してください。			

品質保証期間は、お買い上げ日より1年間です。本書およびお買い上げの日付けの入った販売店のレシートまたは領収書が無い場合は有償修理となります。

保証期間内には、パーツの欠品・不良加工などメーカーの責任によるものは無償修理・交換致しますが、お客様の責任によるものは、保証期間内であっても実費による修理となります。

●下記においては、メーカーの無償修理・交換から除外されます。

- 1) 間違った使い方や手入れ不良によるもの。
- 2) 正規サービス以外によって分解 / 再組立 / 修理されたもの。
- 3) 事故・災害などによるもの。
- 4) 消耗品の自然な消耗 / 摩耗および経年劣化によるもの。
- 5) 雷やその他の電気設備の問題による損傷。
- 6) ユーザーガイドに記載している使用方法以外の使用や保管によって生じた損傷。
- 7) 製品の保証有効期間を過ぎている場合。
- 8) 中古品（使用したもの）を他人へ譲渡した場合や中古品を購入、取得した場合。

尚、実費による修理に要する送料等は、お客様ご負担とさせていただきます。また、製造中止および、部品在庫がなくなった場合、修理できない場合がございます。予めご了承ください。

●製品に不具合が生じた場合は、ユーザーガイドの注意事項をご確認のうえ、くもん出版までご連絡ください。

●本書は日本国内においてのみ有効となります。（海外からのお問い合わせは対応しておりません。）

【日本国内販売元】 くもん出版

〒141-8488
東京都品川区東五反田 2-10-2 東五反田スクエア 11F
Tel. 0120-373-415
受付時間 土日祝を除く 10:00~12:00 / 13:15~17:00
ホームページ <https://www.kumonshuppan.com/>
E-mail info@kumonshuppan.com

製品の詳しい説明、例外やトラブルシューティング、ソフトウェアのアップデートなどは
「<https://matatalab.jp/tale-bot/>」をご覧ください。



This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

MATATALAB CO., LTD.

NO.504, Building B, Jianxing Technology Building, 3151 Shahe West Road, Nanshan District, Shenzhen, Guangdong 518055 China

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications to this device not explicitly approved by manufacturer could void your authority to operate this equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

—Reorient or relocate the receiving antenna.

—Increase the separation between the equipment and receiver.

—Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

—Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Frequency range: 2402MHz~2480MHz

Max power for Bluetooth: <=4dBm(BLE)

The Maximum Permissible Exposure (MPE) level has been calculated based on a distance of 20 cm between the device and the human body. To maintain compliance with RF exposure requirement, use product that maintain a 20cm distance between the device and human body.

Hereby, MATATALAB CO., LTD declares that the radio equipment type **Tale-Bot Pro** are in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: www.matatalab.com/doc



This device complies with the essential requirements and other relevant provisions of the Low Voltage Directive 2014/35/EU, the EMC Directive 2014/30/EU, the Eco-Design Directive 2009/125/EC and the ROHS Directive 2011/65/EU.



WASTE ELECTRICAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT(WEEE)

The WEEE marking indicates that this product should not be disposed with regular household waste at the end of its life cycle. This regulation is created to prevent any possible harm to the environment or human health.

This product is developed and manufactured with high quality materials and components which can be recycled and/or reused. Please dispose this product at your local collection point or recycling centre for electrical and electronic waste. This will make sure that it will be recycled on an environmentally friendly manner, and will help to protect the environment in which we all live.

Caution—electric Toy

Not Recommended For Children Under 3 Years Of Ages. As With All Electric Products, Precautions Should Be Observed During Handling And Use To Prevent Electric Shock.

Conforms To The Requirements Of Astm Standard Consumer Safety Specifications On Toy Safety F963.

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.

DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS



WARNING

CHOKING HAZARD—Toy contains small parts. Not for children under 3 years.



This user guide contains important information, please keep it!

多言語版のユーザーガイドを以下よりダウンロードできます。

日本語版ユーザーガイドは、より分かりやすいものとなるよう、多言語版とは説明を変えて作成しております。そのため、多言語版と日本語版は内容が異なります。また、恐れ入りますが多言語版のユーザーガイドはマタタラボ社作成のため、多言語版に関するお問い合わせについては、くもん出版ではお答えできかねます。ご了承ください。



<https://matatalab.jp/tale-bot/ml/>

matatalab **EDU**

Designed by MATATALAB in China

MATATALAB CO., LTD.

NO.504, Building B, Jianxing Technology Building, 3151 Shahe West Road,
Nanshan District, Shenzhen, Guangdong 518055 China

【日本国内販売元】

くもん出版

〒141-8488

東京都品川区東五反田 2-10-2 東五反田スクエア 11F

Tel. 0120-373-415

受付時間 土日祝を除く 10:00~12:00/13:15~17:00

ホームページ <https://www.kumonshuppan.com/>

E-mail info@kumonshuppan.com